

臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名] 神経細胞表面抗体に関連する自己免疫性脳炎の臨床病理学的研究
- 患者血清・脳脊髄液を用いた自己抗体検査に関する研究 -

[研究責任者] 入岡 隆（横須賀共済病院、脳神経内科部長）

[研究の概要] 自己免疫性脳炎が疑われた患者さんにつき、患者さんの通常診療の中で得た血液・脳脊髄液（髄液）検体の残りを、共同研究施設であるウィーン医科大学脳神経内科学 神経病理・神経化学部門に送付し、自己抗体（抗神経抗体、神経細胞表面抗体）の有無を調べることで、正確な臨床診断を行うことを目指す。

[研究の方法]

●対象となる患者さん 2008年10月以降、当院脳神経内科の外来・病棟で診療を受けた患者さんのうち、自己免疫性脳炎や傍腫瘍性神経症候群が疑われた方。なお、2026年4月1日以降に診療を受けた患者さんについては、個別に口頭・文書を用いて研究参加に関する同意を頂いた上で研究を行います。

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

*カルテ情報：疑われた診断名、年齢、性別、身体所見、神経症状・所見、一般的な検査結果（血液・脳脊髄液検査、脳MRIなどの画像検査、等）、治療経過、等。

*カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号などを含めて個人特定に至りうる情報は本研究で使用・発表されません。

*試料・検体：患者さんの通常診療の中で得た血液・脳脊髄液（髄液）検体の残り。

横須賀共済病院検査科にて、厳重に管理し -70℃の状態での凍結保存されていたもの。

[研究の期間] 2026年4月1日から

2029年3月31日まで（予定、英文論文作成・発表にて終了）

[研究の発表]

●日本神経学会，日本神経病理学会，日本神経免疫学会，及びそれらに関連する国際学会において、口演あるいはポスター発表を行う予定です。

●国家公務員組合連合会に所属する病院が参加する、共済医学会にて口演する予定です。

※共済医学会共同研究事業として研究費を受理しているため、最終的な研究成果を同学会にて発表します（令和11年秋頃の予定）

●英文論文発表：神経内科学・神経免疫学に関係する英文雑誌への投稿・発表を最終目標としています（雑誌例：Neurology Neuroimmunology Neuroinflammation (Nn2), Journal of Neuroimmunology, など）。

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710（代表）（平日 午前8時30分から午後17時15分まで）

連絡先対応者 脳神経内科 部長（研究責任者） 入岡 隆

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。

あらかじめご了承ください。

以上